

福祉科「介護過程」学習指導案

千葉県立松戸向陽高等学校

1 日 時 平成25年12月12日(木)・4限(10:35~11:25), 5限(11:35~12:25)

2 場 所 3年7組教室

3 授業実施者 鈴木恭太・金森真麗(T.T.)

4 対象学級 福祉教養科3年7組()

5 学級観

6 教 材 平成20年度 介護福祉等に係る講習会テキスト「介護過程」掲載の事例
教科書「介護過程」(メヂカルフレンド社)

7 単元名 介護過程の実践的展開(事例研究)

8 単元設定理由及び単元目標

この科目(介護過程・4単位)は、カリキュラムの都合上、「介護総合演習(2単位)」と抱き合わせで実施しており、10月の介護実習の事前事後指導及び介護実習報告会が終了した時点で介護過程の指導内容はほぼ終了しており、あとは介護実習で学んだ知識等を活かして、介護総合演習の内容である事例研究や調査・研究を行うことを計画している。

単元目標としては、

- 今までの学習を活かし、事例にあるフェイスシートとアセスメントシートにある情報から、利用者の生活全般のニーズを導き出すことで、適切な判断力を身に付ける。
- 生活全般のニーズを満たすための介護計画(支援方針、支援目標、支援方法)を作成することで、個別支援計画の重要性を理解する。
- 作成された介護計画の妥当性についてグループ及びクラスで検討し合い、評価の意義と重要性について理解する。

9 単元指導計画

(1) 事例研究	10時間
1) 介護計画作成	7時間
2) 介護計画検討	3時間(本時)

10 本時の指導

(1) 題材: 介護計画検討

(2) 目標: 同じ事例で作成された介護計画をグループで検討し合うことで、他者の考え方(ニーズの導き方、支援目標、支援期間、支援方法)を理解するとともに、利用者にとってよりよい介護計画とは何かを探り、チームで関わることの重要性を理解する。

(3) 本時の学習指導過程 (50分の2時間連続授業)

学年・年	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価の観点
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶 出欠確認 前時の学習内容の確認 本時の学習内容、学習目標の説明 	<ul style="list-style-type: none"> 休み時間と授業の気持ちの切り替えをする。 自分の介護計画の内容を確認する。 本時の学習内容（グループ学習）を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 休憩と授業の切り替えが不十分ならやり直させる。 グループで介護計画を検討し合うことの意義を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業を受ける準備と態度ができるか。 (関心・意欲・態度) 前時の内容を理解している。 (知識・理解)
展開 (80分)	事例検討	<ul style="list-style-type: none"> 6人程度のグループに別れ、記録係、発表係を決め、メンバーそれぞれの介護計画（生活全般のニーズ、支援目標、支援期間、支援方法）について検討し合い、その検討内容を記録係が新たな介護計画用紙に記入する。 グループごとに検討した介護計画を発表係が板書し発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> グループのメンバー全員が介護計画の検討に参加しているかを机間巡回しながら確認、指導する。 他のグループの発表内容を確認、比較、検討することで、介護計画の妥当性について考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事例検討に対して、その方法と意義を理解し、積極的に取り組もうとしている。 (知識・理解) (関心・意欲・態度) 他者の発言を聴き取ろうという姿勢が見られる。 (関心・意欲・態度) 自分の介護計画について的確に表現・説明している。 (思考・判断・表現) (技能) 自分と他者の介護計画を比較・検討し、利用者にとってよりよい支援とは何かを考えている。 (関心・意欲・態度) (思考・判断・表現) (知識・理解) 他者の介護計画を比較・検討し、利用者にとってよりよい支援とは何かを考えている。 (関心・意欲・態度) (思考・判断・表現) (知識・理解)
まとめ (10分)	本時のまとめ	利用者にとってよりよい介護計画とは何かを考える。	介護計画について複数で検討し合うことで、より妥当な計画作成につながることを理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> 介護計画の意義・重要性について理解している。 (知識・理解) (思考・判断・表現)